

総合的な介護人材確保対策（主な取組）

これまでの主な対策

さらに講じる主な対策

介護職員の
処遇改善

（実績）月額平均5.7万円の改善

- 月額平均1.4万円の改善(29年度～)
- 月額平均1.3万円の改善(27年度～)
- 月額平均0.6万円の改善(24年度～)
- 月額平均2.4万円の改善(21年度～)

◎ リーダー級の介護職員について他産業と遜色ない賃金水準を目指し、経験・技能のある介護職員に重点化した更なる処遇改善を2019年10月より実施

多様な人材
の確保・育成

- 介護福祉士修学資金貸付、再就職準備金貸付による支援
- 中高年齢者等の介護未経験者に対する入門的研修の実施から、研修受講後の体験支援、マッチングまでを一体的に支援

◎ 介護分野への元気高齢者等参入促進セミナーの実施
◎ ボランティアポイントを活用した介護分野での就労的活動の推進

離職防止
定着促進
生産性向上

- 介護ロボット・ICTの活用推進
- 介護施設・事業所内の保育施設の設置・運営の支援
- キャリアアップのための研修受講負担軽減や代替職員の確保支援

◎ リーダー的介護職員の育成とチームケアによる実践力の向上
◎ 介護ロボット・ICT活用推進の加速化
◎ 生産性向上ガイドラインの普及
◎ 悩み相談窓口の設置、若手職員の交流推進

介護職
の魅力向上

- 学生やその保護者、進路指導担当者等への介護の仕事の理解促進
- 介護を知るための体験型イベントの開催

◎ 若者層、子育てを終えた層、アクティブシニア層に対する介護職の魅力等の情報発信

外国人材の受
入れ環境整備

- 介護福祉士を目指す留学生等の支援（介護福祉士修学資金の貸付推進、日常生活面での相談支援等）

◎ 「特定技能」等外国人介護人材の受入環境整備（現地説明会等による日本の介護のPR、介護技能向上のための集合研修、介護の日本語学習支援、介護業務等の相談支援・巡回訪問の実施等）